

小中一体型校舎において想定されるメリット・デメリット

[参考 4]

教育面・指導面	メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校が施設を共有するため、必然的に小中学校の連携が強化される。 ・学習指導（外国語活動など）に教員の相互乗り入れが行いやすい。 ・小学校から中学校への接続を円滑に行うことが可能となる。 ・9年間一貫したルールで指導が可能となる。 ・小中の教員の情報交換がスムーズになり、問題行動等に対し、小中連携した早期対応が可能となる。 ・中学校進級時に生活環境の変化が少ないため、安心感を感じやすい。 ・中学生が小学生と接することで上級生としての自覚を持ちやすい。 ・小学生が中学生を身近に目にするすることで、中学生への憧れを感じやすい。
	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校が共有する教室（特別教室）については、単独校と比較して使用時間の制約が大きくなる。【⇒小中学校で調整・ルール化など】 ・小中学校における時間割のズレ（授業開始時間など）【⇒小中で調整・ソーニング】 ・中学生から小学生への悪影響を受けやすくなる。【⇒小中一貫した指導体制など】 ・9年間同じ校舎で生活するため、環境の変化が乏しくなる。【⇒教室形状の検討など】